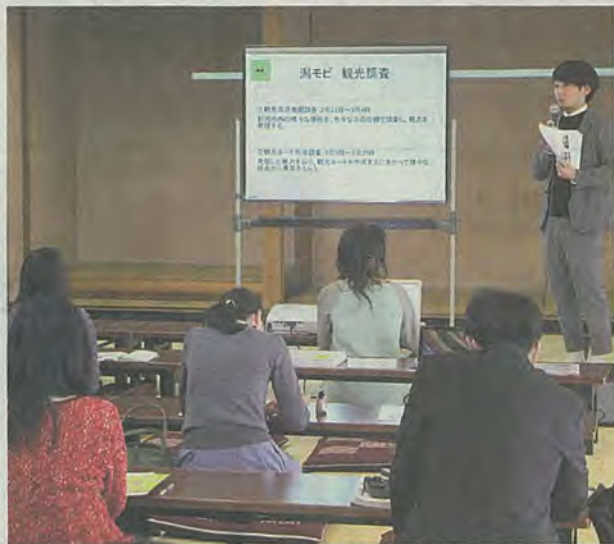


地域の歴史、四季の行事…

小路を巡って魅力発見

「超小型EV」県が実証実験報告会

県が実施している電気自動車（EV）の「超小型モビリティ」実証実験の報告会が16日、新潟市中央区清五郎の天寿園で開かれた。調査員は細い道を巡って地域の歴史や四季の行事などを発掘することができたとして「地元密着型の旅行プランの作成につながられそうだ」と報告した。



実験は超小型モビリティの観光と法人利用のニーズを探ろうと、先月19日から1カ月行っている。デザイ

報告会には県の担当者ら約20人が参加し、観光面

実証は超小型モビリティの観光と法人利用のニーズを探ろうと、先月19日から1カ月行っている。デザイ

報告会には県の担当者ら約20人が参加し、観光面

会社U・STYLE（中

超小型モビリティの実証実験について説明があった報告会＝16日、新潟市中央区清五郎

を中心に報告があった。農家や商店街の人など約20人が調査に協力し、調査員が新潟市の鳥屋野潟周辺や江南区の亀田地区などを巡って、土地の歴史や四季の行事などを聞き取った。

同社の松浦柗太朗さん(23)は「車では通り過ぎてしまふ小路などを巡ることがができる。旅行者が利用すれば新潟の魅力を感じることがができるのでは」と提言した。

アドバイザーとして実験に参加している食環境ジャーナリストの金丸弘美さん(63)＝東京都＝は「野鳥や農業など魅力的な観光資源をよく掘り起こしている。今までの観光の常識にとらわれず、新潟ならではの発信を期待している」と話していた。